

1993年10月5日

4級免許で操船可能な最大サイズを実現

ファミリー・フィッシングボート

『FC - 31』

新 発 売

ヤマハ発動機株式会社では、4級小型船舶操縦士免許で操船可能な最大サイズのファミリー・フィッシングボートとして、フライングブリッジ付きのニューモデル『FC - 31』を新たに開発しました。本年12月1日より発売を開始いたします。



ヤマハ『FC - 31』

<東京店頭渡しメーカー希望小売価格> 16,150,000円

※ヤマハ・ディーゼルSX - 420KSH (240馬力) × 1基掛

※法定安全備品を除く ※消費税は別途

<販 売 計 画 隻 数> 150隻/3年

### ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500  
東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座

TEL.0538  
TEL.03

FAX.0538  
FAX.03

## <市場背景と商品の概要>

世界のマリン先進国と同様に、わが国においてもマリンスポーツ・レジャーの多様化傾向は、マリンファン層の広がりとともに進んでいます。これはボートフィッシングひとつをとっても言えることで、それこそ近場の釣りから外洋でのスポーツフィッシングまで、多彩なフィッシングボートを使った遊び方が出現しています。

今回新開発した『FC-31』は、そうしたボートフィッシングの全てをカバーできるモデルとして提案したものです。フライングブリッジ付きの31フィートサイズのボートでありながらも、4級小型船舶操縦士免許での操船を可能とし、しかも割安感のある価格におさえて、フィッシングを中心としてマルチにマリンプレイを楽しむユーザーの期待に応えています。

## <『FC-31』の主な特徴>

### 1. 外観および機能について

#### ● 4級小型船舶操縦士免許で操船可能な最大寸法

総トン数を5ton未満におさえながらも、測度寸法を最大にとることにより、4級小型船舶操縦士免許での操船を可能としました。

#### ● 多彩なフィッシングを考慮したデッキ・デザイン

全体のスタイリングは、マルチパーパスなユースを前提に従来からあるフィッシングボートのイメージを抑えたデザインとしながらも、デッキ・デザインについてはセミウォークアラウンドタイプを採用したほか、十分な広さのアフトデッキスペースを確保して、釣り機能や作業性の向上を配慮しています。

#### ● スポーツフィッシング機能と快適性を高めたフライングブリッジ

十分な広さをもつフライングブリッジには、ドライバーズシートのほか、走行時3名・停船時4名座れるマルチL型シートを設置して、団らんスペースとしての使用も配慮。シート芯材には新素材を採用して、快適性を向上させました。もちろん、ファイティング時の後方視界の確保や、コクピット

における計器類の機能的な配置など、スポーツフィッシング機能の充実も図っています。

### ●安全性を重視したフライングブリッジステップ

フライングブリッジへの昇り降りのための階段は、デッキと一体のステップを採用して、昇降時の安全性を重視した角度・高さ・奥行を設定し、後向きのままで降りることも可能としました。

## 2. インテリアについて

### ●居住性を重視したキャビンスペース

キャビンはフラットフロアの採用により、大人6名がくつろげる広いスペースを確保。中央の亚克力製テーブルにはドリンクホルダーのほか、ハンドレールを一体化して安全性にも留意しています。キャビン内のデッキライナーやステアリングボックスの表面は新加工技術を施し、ベルベックス地の質感と触感を演出。防音・防振対策と合わせて、居住性を高めています。

### ●フィッシングを考慮した収納スペースの充実

キャビンの入口に濡れた物の持ち込みやブーツ・カップ類の着替えを可能とするセミウェットスペースを設定し、その左右にはタックルボックスとギャレーをレイアウトしたほか、キャビンクッション下にロッドホルダー（左舷）や物入れ（右舷）を設置するなど、フィッシングのための収納スペースを充実させました。

## 3. 性能特性について

### ●ヤマハ製ディーゼルとのマッチングで高性能を発揮

船体には波切りの良い、高速向きの船型を採用し、走行安定性と凌波性を両立させました。さらに長い水線長により衝撃軽減を実現、艇体の軽量化も図り、ヤマハ製高性能ディーゼルエンジン『SX-420KSH』のレスポンスをさらに高めています。

開発担当者のコメント

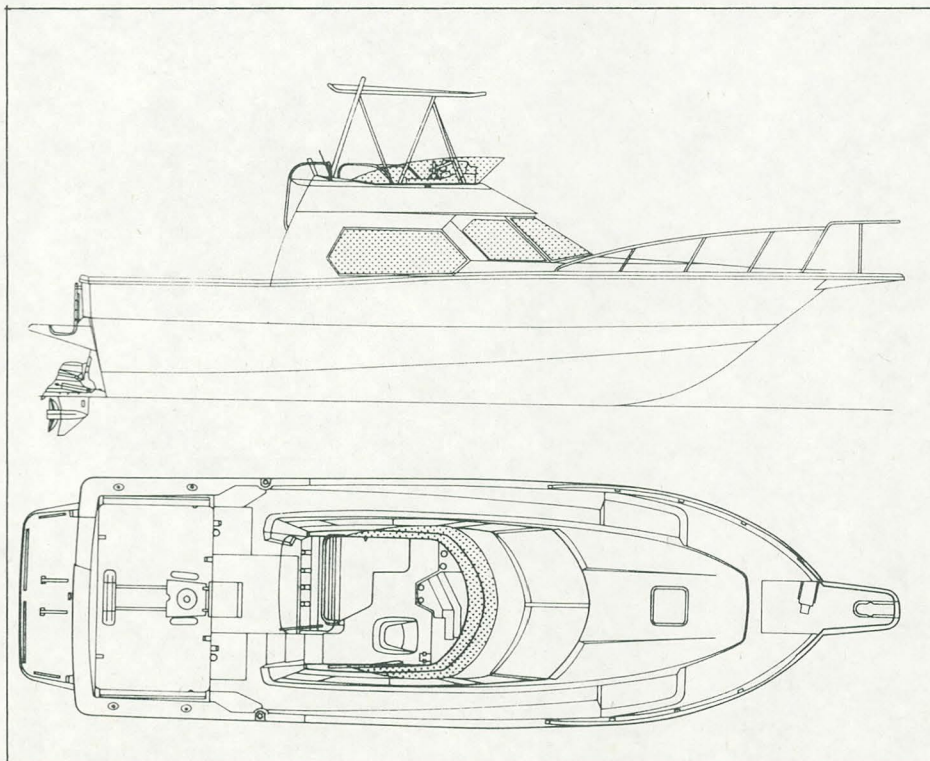
4級免許で乗れるフライングブリッジ付きのマルチフィッシングボートを作って欲しい——という声に応えて開発した『FC-31』は、もちろん、フィッシング機能は徹底的に追求していますが、まずは誰もが海に出たくなるボートをめざしました。海に出て、ポケットしてるもよし、本を読んでいるもよし、音楽を聞いているもよし・・・そんなマルチパーパスな遊びをイメージしながら、スケッチをしていったのです。

それだけに、スタイリングにはかなりこだわりました。フライングブリッジのデッキ一体型ステップにしても、もはやフライングブリッジに昇ることは特別なことでも何でもない——フライングブリッジで音楽を聞くための通路、家族の誰もが昇り降りするための階段という意識で線を引いたのです。

舟艇事業部技術部第2プロジェクト

設計担当 田面光晴

<『FC-31』のプラン>



<『FC - 31』主要諸元>

全 長 : 9.53m  
10.37m (バウスプリット含む)  
全 幅 : 3.16m  
全 深 さ : 0.96m  
完 成 重 量 : 約3.8t  
エ ン ジ ン : SX - 420KSH  
(呼称最大馬力) (240馬力)  
燃料タンク容量 : 405 ℓ  
清水タンク容量 : 50 ℓ  
総 ト ン 数 : 5トン未満  
航 行 区 域 : 沿海  
定 員 : 12名

<カラーリング>

ハ ル (艇体) : ホワイト  
デ ッ キ : ホワイト+ブラック